

バイウィルと鳥取県中部森林組合が 森林クレジットの創出に向け、契約を締結

当組合は、日本全国 47 都道府県のカーボンニュートラル実現を目指す株式会社バイウィル（本社：東京都中央区、代表取締役社長：下村 雄一郎、以下「バイウィル」）と、適切な森林管理による J-クレジット(*1)創出・販売に向けた契約を締結しました。

なお、本契約は、株式会社鳥取銀行（本店：鳥取県鳥取市、取締役頭取：入江 到、以下「鳥取銀行」）とのビジネスマッチング契約に基づく紹介により契約締結に至りました。

本契約により、当組合が管理する森林からの J-クレジット創出について、申請手続きから販売先の探索までを一貫してバイウィルが受託・代行されます。



当組合が管理する森林

*1: J-クレジットとは、省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られた CO2 等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。発行されたクレジットは他の企業等に売却することでき、購入者はカーボンオフセットに活用することができる。

【締結日】

2024年6月28日（金）

【契約締結の背景】

カーボンニュートラル実現に向けては、自身で削減しきれない排出量をカーボンクレジットで埋め合わせる「カーボンオフセット」がひとつの有効な手段です。しかし、カーボンクレジット創出には費用や手間がかかるうえ、販売への不安も創出者の負担になります。

そこでバイウィルに、創出手続きや申請費用、販売先の探索も代行していただくことで、J-クレジットなどカーボンクレジットの創出と流通を支援していただきます。

【鳥取県中部森林組合の脱炭素に向けた取り組み】

当組合は 2011 年に SGEC 森林認証(*2)を取得し、生物多様性のバランスを崩すことのない、共存共生が図られるような施業を念頭に、植える、育てる、伐る、使う、という循環を繰り返すことで、持続可能な森林づくりを行っています。

森林整備を通じた自然資源の保全や持続可能な林業とまちづくりだけでなく、森林教育・木育やバイオマス発電による脱炭素化促進など、SDGs達成に向けて取り組んでおります。

今回、当組合が管理する森林の中で、まだ J-クレジット創出に着手していない森林についてもバイウィルに支援していただくことで、J-クレジット創出・流通をさらに拡大するために契約締結に至りました。

*2:SGEC 森林認証とは、日本の森林の自然的・社会的立地に即して持続可能な森林経営を実現するための国際性を持った基準のこと。森林管理に関する環境、社会および経済の分野を網羅している。

【具体的な取り組みおよび今後の展望】

当組合が管理する森林の適切な管理によるCO2吸収量は、簡易算定の結果、認証対象となる8年間で13,056 t-CO2を見込んでおり、2024年度中のプロジェクト登録を目指し、手続きを進めてまいります。

当組合が管理する森林から J-クレジットを創出し、流通させることで、地域のカーボンニュートラルの実現、間伐を始めとする森林整備の促進に向けて取り組んでまいります。

山林所有者の皆様には J-クレジット創出に伴うご協力をお願いすることもございますが、ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

バイウィル 会社概要

- 社名:株式会社バイウィル
- 住所:東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6 階
- 公式サイト:<https://www.bywill.co.jp/>
- 代表者:代表取締役社長 下村 雄一郎
- 設立:2013年11月11日

※2023年4月1日より、株式会社フォワードから株式会社バイウィルに社名変更

■事業内容:

- ・環境価値創出支援事業(クレジット創出)
- ・環境価値売買事業(クレジット調達・仲介)
- ・脱炭素コンサルティング事業
- ・ブランドコンサルティング事業

■プレスリリース:<https://www.bywill.co.jp/news/20240725>